

船舶事故調査報告書

平成29年10月18日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年7月9日 10時05分ごろ
発生場所	沖縄県北谷町のサンセットビーチ西方沖 宜野湾港北防波堤灯台から真方位035° 2.5海里付近 (概位 北緯26° 18.8′ 東経127° 45.1′)
事故の概要	プレジャーボートWHITEは、東進中、干出浜に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年7月11日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート WHITE、5トン未満（長さ7.61m）
船舶番号、船舶所有者等	232-35763沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	推進器翼に欠損、船底外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風速 約5.8m/s、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約121cm (那覇)、水温 約28℃
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、船長の家族2人及び知人1人を乗せ、沖縄県嘉手納町所在のマリーナを出発して沖縄県宜野湾市所在のマリーナ（以下「本件マリーナ」という。）に帰航中、船長が家族を遊泳させようと思い、予定を変更して北谷町のサンセットビーチ西方沖に向かった。</p> <p>本船は、サンセットビーチ西方沖を約2～3ノットの対地速力で東進中、船長が、魚群探知機付きのGPSプロッターにより水深が約10mであることを認めた後、周囲の海底の状況を目視で確認しながら操船し、そろそろ停船して錨泊しようと思い、クラッチを中立としたところ、干出浜（さんご礁）に乗り揚げた。</p> <p>船長は、主機を停止し、船固めを行った後、家族2人及び知人1人と共に本船から離れ、サンセットビーチに泳ぎ着き、本件マリーナに本船が乗り揚げたことを連絡した。</p> <p>本船は、本件マリーナに所属する船舶に引き出され、本件マリーナにえい航された。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約0.9mであった。</p> <p>船長、家族2人及び知人1人は、救命胴衣を着用していた。</p> <p>船長は、サンセットビーチ西方沖を航行した経験はなかった。</p> <p>海図W222A（沖縄島南部）によればサンセットビーチ西方沖には南北方向に干出浜が広がっている。</p>

<p><b>分析</b></p>	<p>本船は、サンセットビーチ西方沖を東進中、船長が、同ビーチ西方沖の干出浜の拡張状況を知らなかったことから、同干出浜に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、帰航中、予定を変更して航行した経験がないサンセットビーチ西方沖に向かったことから、同ビーチ西方沖の干出浜の拡張状況を知らなかったものと考えられる。</p>
<p><b>原因</b></p>	<p>本事故は、本船が、サンセットビーチ西方沖を東進中、船長が、同ビーチ西方沖の干出浜の拡張状況を知らなかったため、同干出浜に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p><b>参考</b></p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不慣れな海域を航行する場合は、事前に水路調査を行うこと。</li> </ul>